

8. 外国人の就労について

(1) 外国人の雇用状況

(1) これまでに外国人を雇用したことがありますか。(非正規従業員を含む)【1つに○】

外国人の雇用状況については、「雇用したことはない」が 73.8%と最も高く、次いで「現在雇用している」が 15.3%、「現在雇用していないが過去に雇用したことがある」が 10.9%の順となっている。

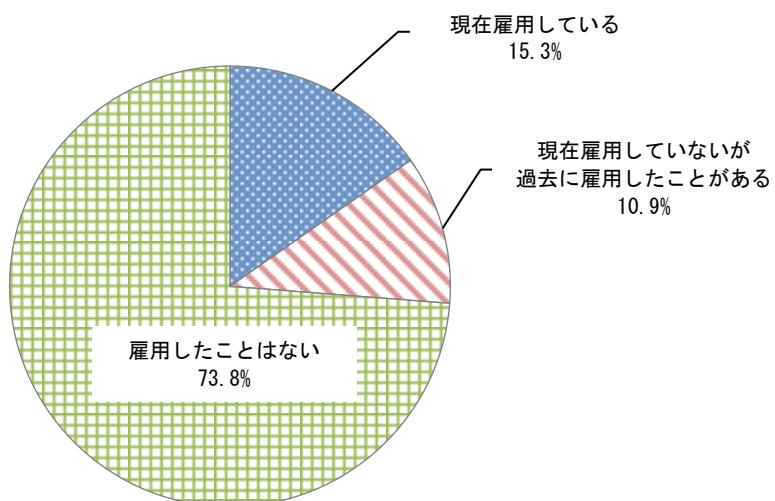
前回調査との比較では、「現在雇用している」が 7.8 ポイント増加している。

業種別でみると、〈宿泊業、飲食サービス業〉を除くすべての層で「雇用したことはない」の割合が最も高くなっている。

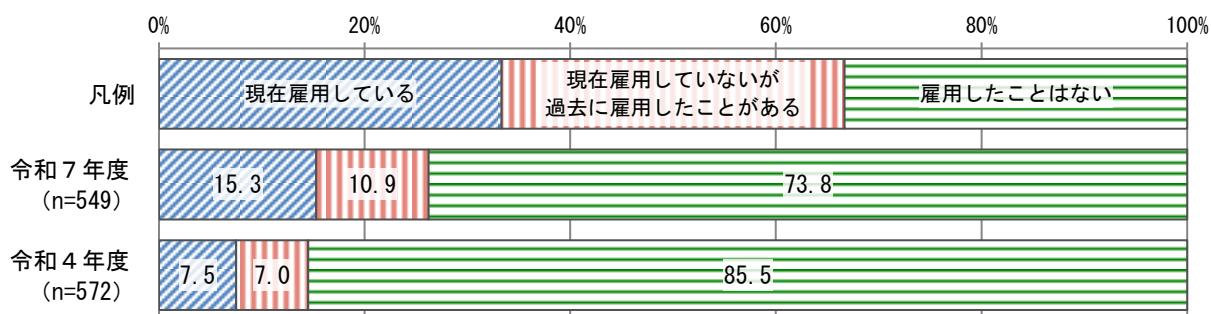
また、〈宿泊業、飲食サービス業〉では「現在雇用していないが過去に雇用したことがある」が 42.9%と最も高く、他の層より 25 ポイント以上高くなっている。

従業員規模別でみると、従業員規模が大きい層ほど「現在雇用している」の割合が高くなっている。〈300 人以上〉では 41.2%となっている。

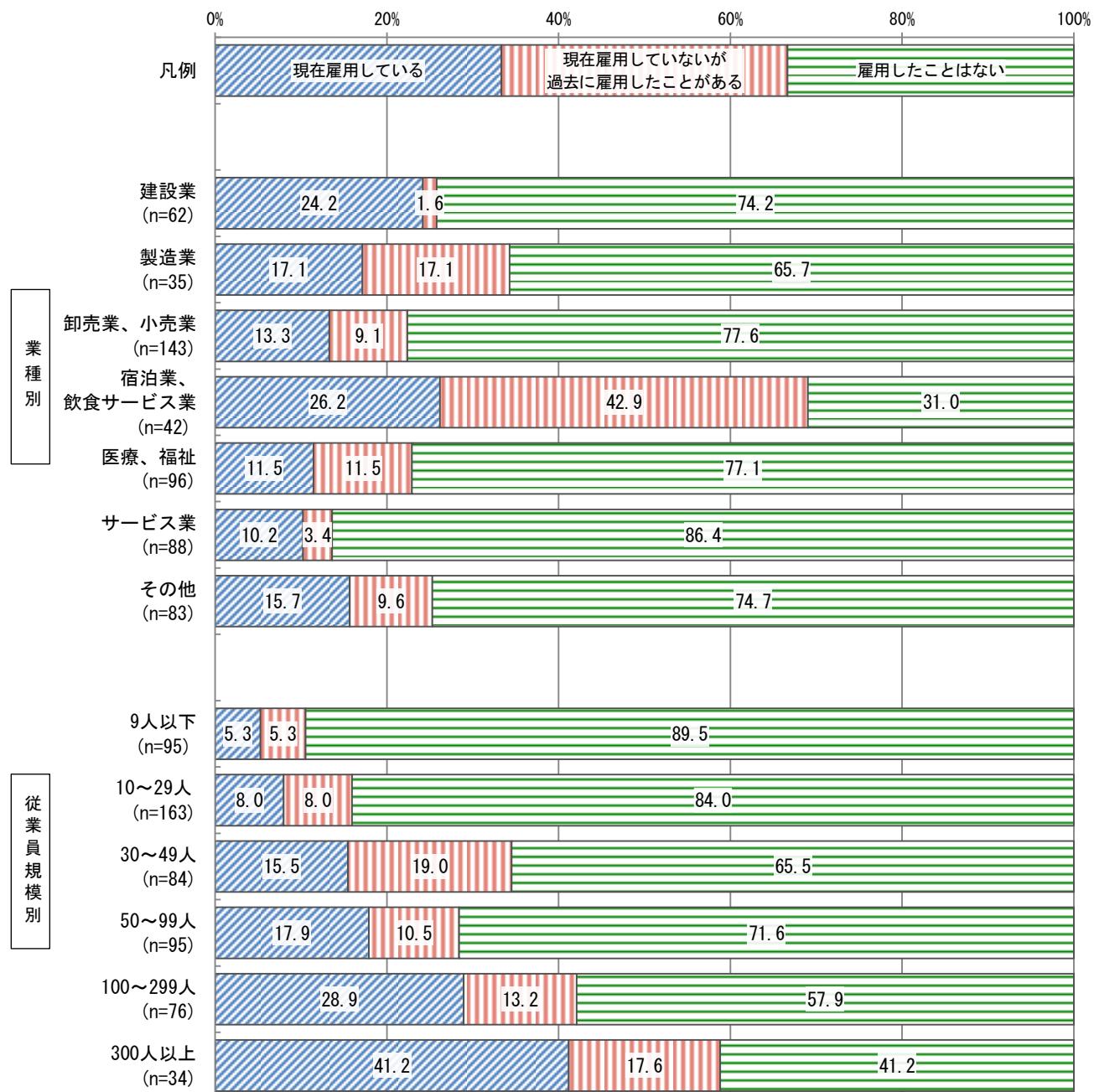
■外国人の雇用状況 (回答数 = 549)



【前回調査との比較】



【業種別／従業員規模別（外国人の雇用状況）】



(2) 今後の外国人の雇用意向

(2) 今後、外国人を雇用したいと考えていますか。(非正規従業員を含む)【1つに○】

今後の外国人の雇用意向については、「雇用したいと思わない」が 61.5%と最も高く、次いで「雇用したい」が 38.5%の順となっている。

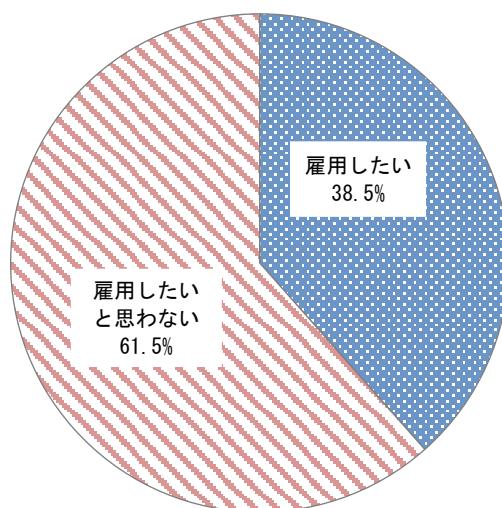
前回調査と比較すると、「雇用したい」が 13.3 ポイント増加している。

業種別でみると、〈建設業〉、〈宿泊業、飲食サービス業〉で「雇用したい」が 5 割台となっている。

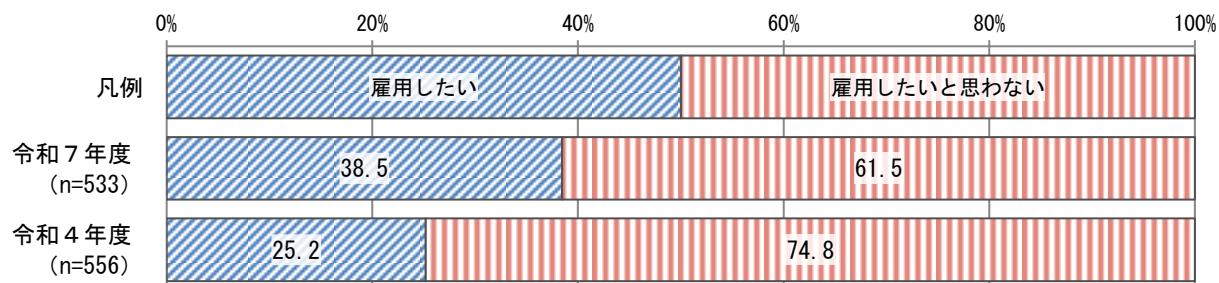
従業員規模別でみると、99 人以下の層で「雇用したいと思わない」が、100 人以上の層で「雇用したい」が、それぞれ高くなっている。

特に、〈300 人以上〉の層では、「雇用したい」が 75.8%と、その他の層より 23 ポイント以上高くなっている。

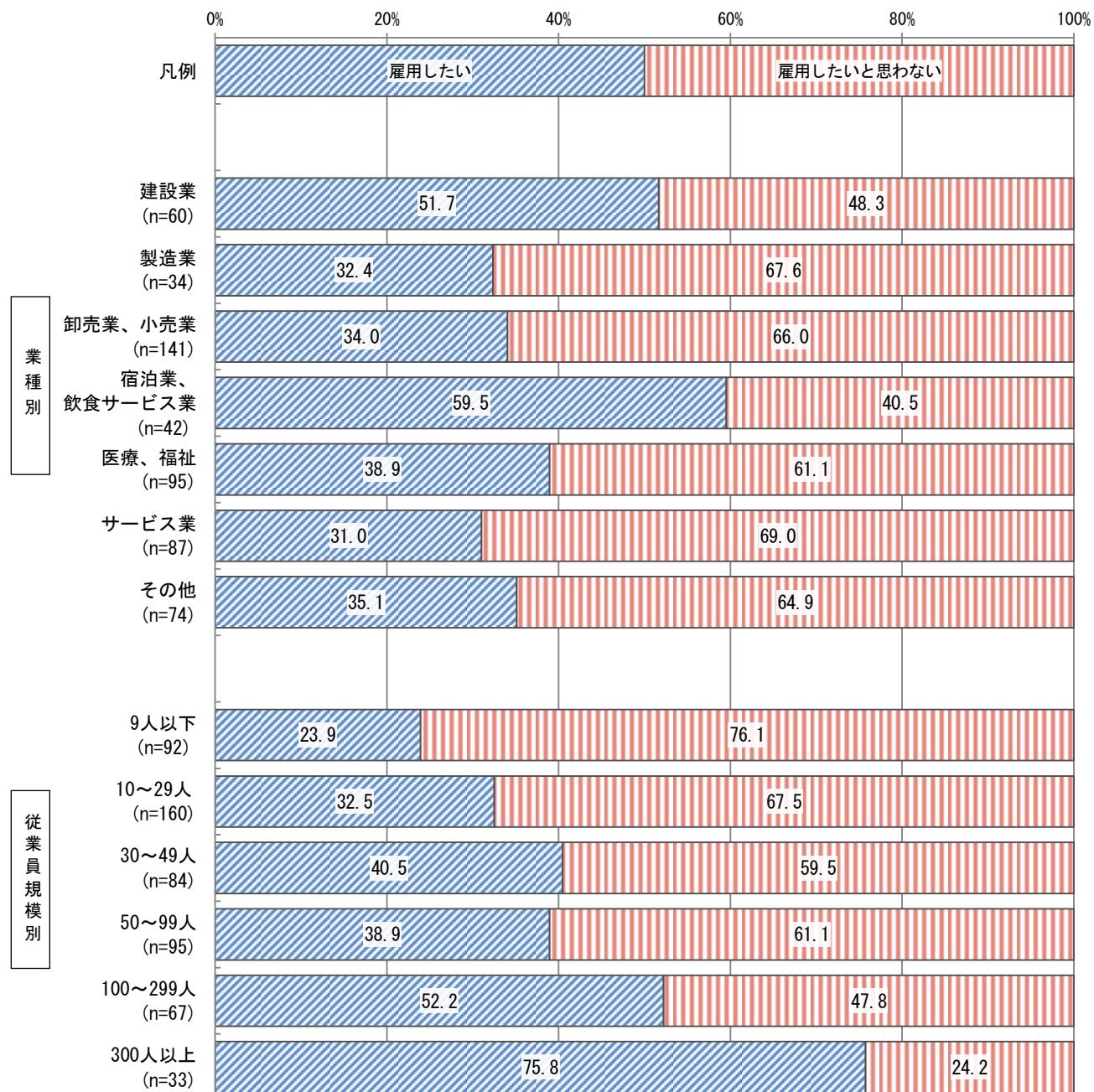
■今後の外国人の雇用意向【回答数=533】



【前回調査との比較】



【業種別／従業員規模別（今後の外国人の雇用意向）】



(3) 外国人を雇用するにあたっての課題

(3) 外国人を雇用するにあたっての課題はどのようなものがあると考えますか。【あてはまるもの全てに○】

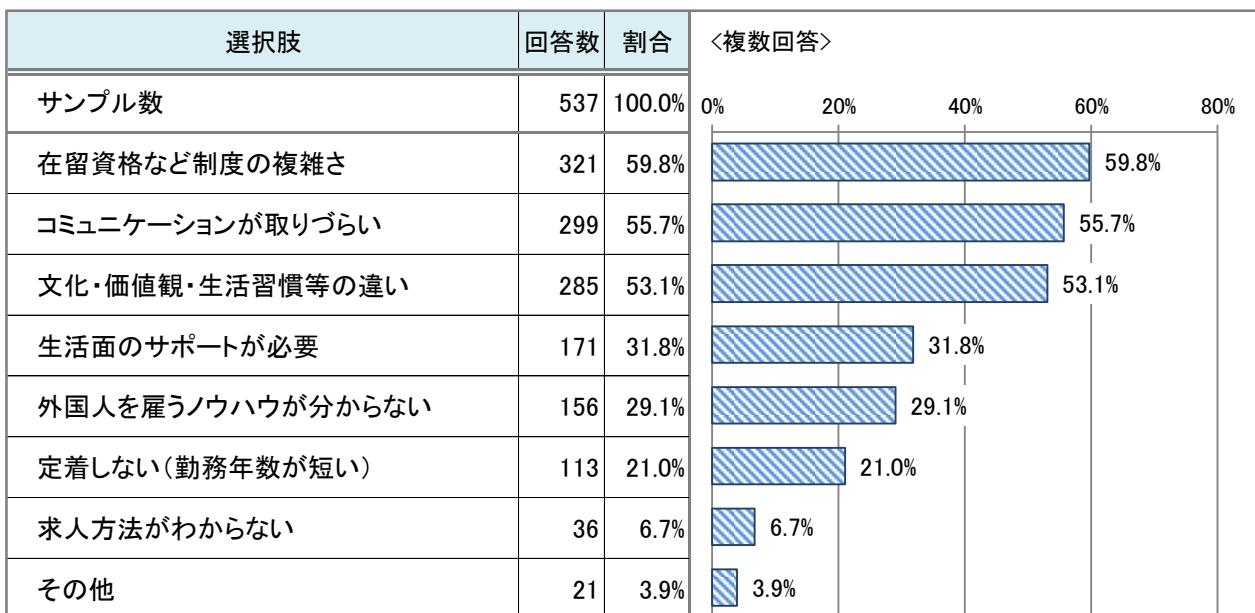
外国人を雇用するにあたっての課題については、「在留資格など制度の複雑さ」が 59.8%と最も高く、次いで「コミュニケーションが取りづらい」が 55.7%、「文化・価値観・生活習慣等の違い」が 53.1%の順となっている。

前回調査との比較では、「文化・価値観・生活習慣等の違い」が 13.3 ポイント、「在留資格など制度の複雑さ」が 11.9 ポイント、それぞれ増加している。

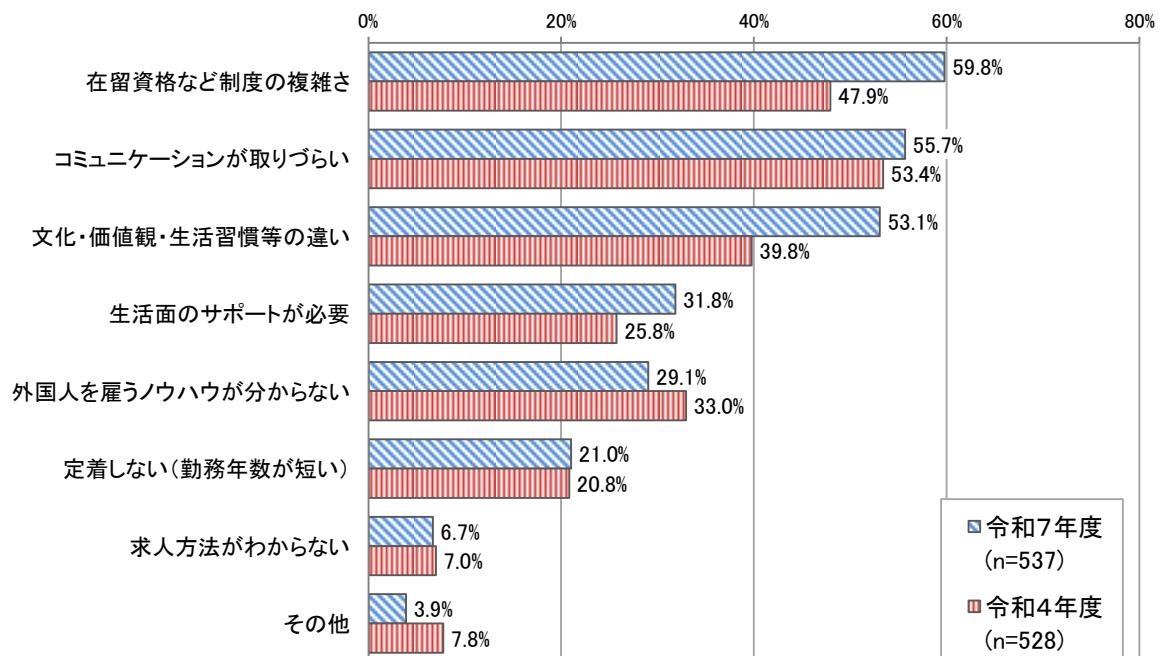
業種別でみると、〈建設業〉を除いたすべての層で「在留資格など制度の複雑さ」、「コミュニケーションが取りづらい」、「文化・価値観・生活習慣等の違い」が上位 3 位以内となっており、〈建設業〉では「在留資格など制度の複雑さ」、「文化・価値観・生活習慣等の違い」に次いで、「生活面のサポートが必要」が 3 位となっている。

従業員規模別でみると、すべての層で「在留資格など制度の複雑さ」、「コミュニケーションが取りづらい」、「文化・価値観・生活習慣等の違い」が上位 3 位以内となっている。

■外国人を雇用するにあたっての課題〔回答数=537〕



【前回調査との比較】



【業種別／従業員規模別（外国人を雇用するにあたっての課題）】

※ ■ は第1位、 ▨ は第2位、 □ は第3位の項目

		合計	複在留資格など制度の複雑さ	がコミュニケーションが取りづらい－ション	習文化慣化等・の価値違－い観・生活	数定が着短しない－勤務年	必生要生活面のサポートが	い求人方法がわからな	ウ外国人が分かを雇うノウハウ	その他
業種別	建設業	60	45	24	30	15	26	4	16	2
		100%	75.0%	40.0%	50.0%	25.0%	43.3%	6.7%	26.7%	3.3%
	製造業	34	19	21	21	7	13	4	7	1
		100%	55.9%	61.8%	61.8%	20.6%	38.2%	11.8%	20.6%	2.9%
	卸売業、小売業	141	86	79	70	29	38	10	53	3
		100%	61.0%	56.0%	49.6%	20.6%	27.0%	7.1%	37.6%	2.1%
	宿泊業、飲食サービス業	42	24	23	22	14	11	2	11	1
		100%	57.1%	54.8%	52.4%	33.3%	26.2%	4.8%	26.2%	2.4%
	医療、福祉	92	55	53	50	18	32	5	23	3
		100%	59.8%	57.6%	54.3%	19.6%	34.8%	5.4%	25.0%	3.3%
従業員規模別	サービス業	86	47	51	48	19	27	8	28	6
		100%	54.7%	59.3%	55.8%	22.1%	31.4%	9.3%	32.6%	7.0%
	その他	82	45	48	44	11	24	3	18	5
		100%	54.9%	58.5%	53.7%	13.4%	29.3%	3.7%	22.0%	6.1%
	9人以下	88	46	42	34	24	20	9	28	3
		100%	52.3%	47.7%	38.6%	27.3%	22.7%	10.2%	31.8%	3.4%
	10～29人	161	90	90	81	34	43	12	47	9
		100%	55.9%	55.9%	50.3%	21.1%	26.7%	7.5%	29.2%	5.6%
	30～49人	83	49	43	43	17	22	2	25	4
		100%	59.0%	51.8%	51.8%	20.5%	26.5%	2.4%	30.1%	4.8%
	50～99人	95	69	59	58	21	37	8	34	3
		100%	72.6%	62.1%	61.1%	22.1%	38.9%	8.4%	35.8%	3.2%
	100～299人	75	44	46	48	13	32	2	14	1
		100%	58.7%	61.3%	64.0%	17.3%	42.7%	2.7%	18.7%	1.3%
	300人以上	34	22	19	21	4	16	3	8	1
		100%	64.7%	55.9%	61.8%	11.8%	47.1%	8.8%	23.5%	2.9%

(4) 外国人の在留資格別構成

(4) 外国人の雇用人数を在留資格別にご記入ください。【数字を記入】

外国人の在留資格別構成については、「技能実習」が40.9%と最も高く、次いで「特定技能」が26.4%、「永住者、定住者、日本人の配偶者等」が16.8%の順となっている。

性別構成については、「男性」が48.0%、「女性」が52.0%となっている。

前回調査との比較では、「特定技能」が18.5ポイント増加、「技能実習」が12.8ポイント減少している。

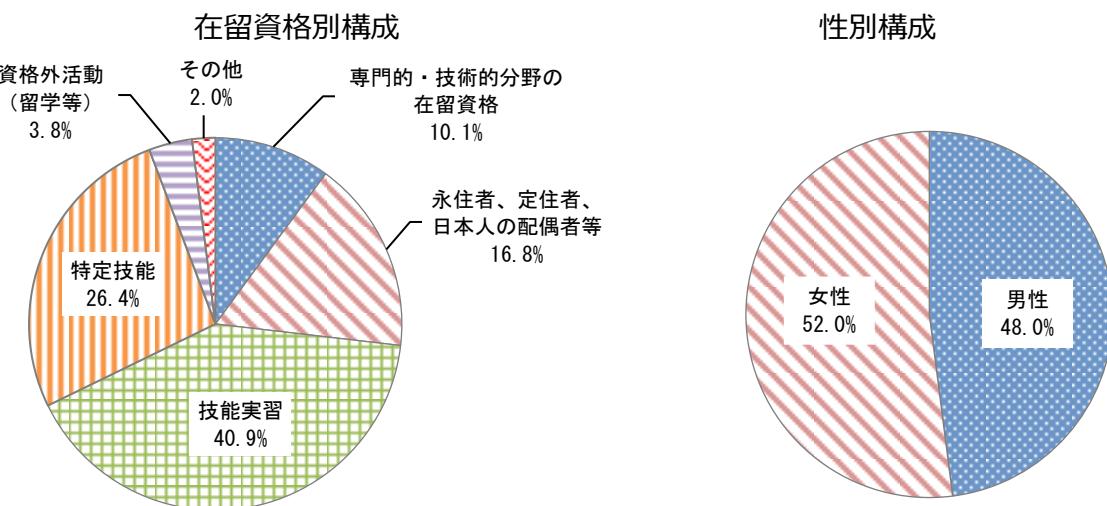
性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「技能実習」が最も高く、次いで「特定技能」、「永住者、定住者、日本人の配偶者等」の順となっている。

また、〈男性〉では「専門的・技術的分野の在留資格」が14.3%と〈女性〉より8ポイント高く、〈女性〉では「技能実習」が45.7%と〈男性〉より10.2ポイント高くなっている。

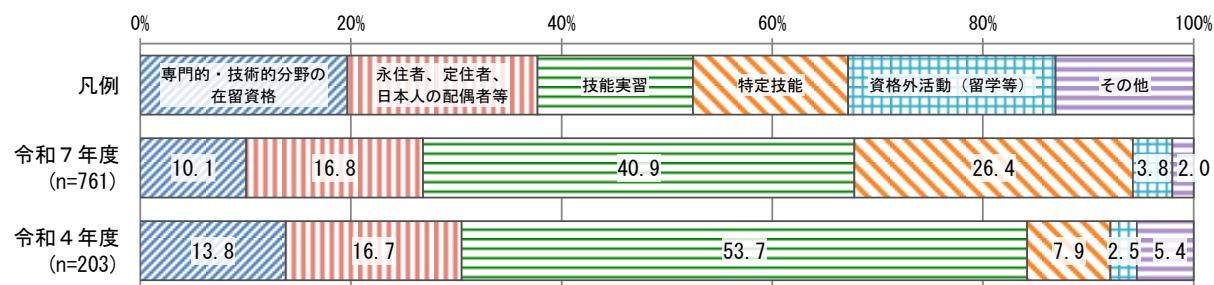
業種別でみると、〈建設業〉、〈製造業〉で「技能実習」が6割台、〈医療、福祉〉で「特定技能」が71.6%、〈サービス業〉で「専門的・技術的分野の在留資格」が50.0%、〈その他〉で「永住者、定住者、日本人の配偶者等」が55.8%と、他の層より高くなっている。

従業員規模別でみると、299人以下の層で「技能実習」が、〈300人以上〉で「永住者、定住者、日本人の配偶者等」が、それぞれ最も高く、特に、「永住者、定住者、日本人の配偶者等」について、〈300人以上〉で45.0%と、他の層より18ポイント以上高くなっている。

■外国人の在留資格別構成〔対象者数=761、回答数=80〕

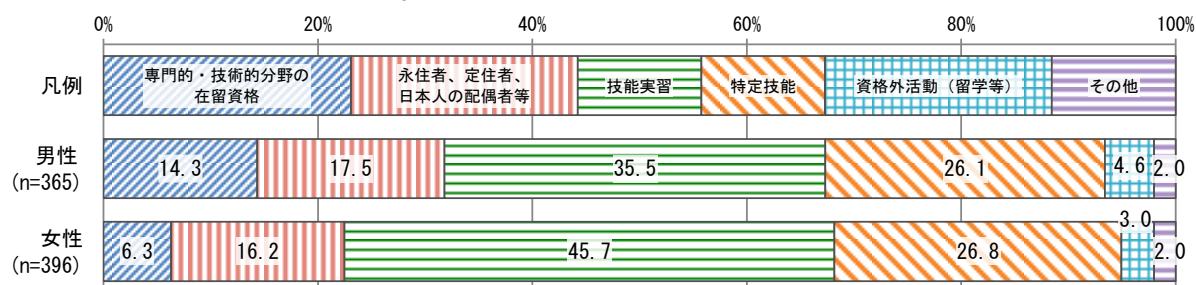


【前回との比較】

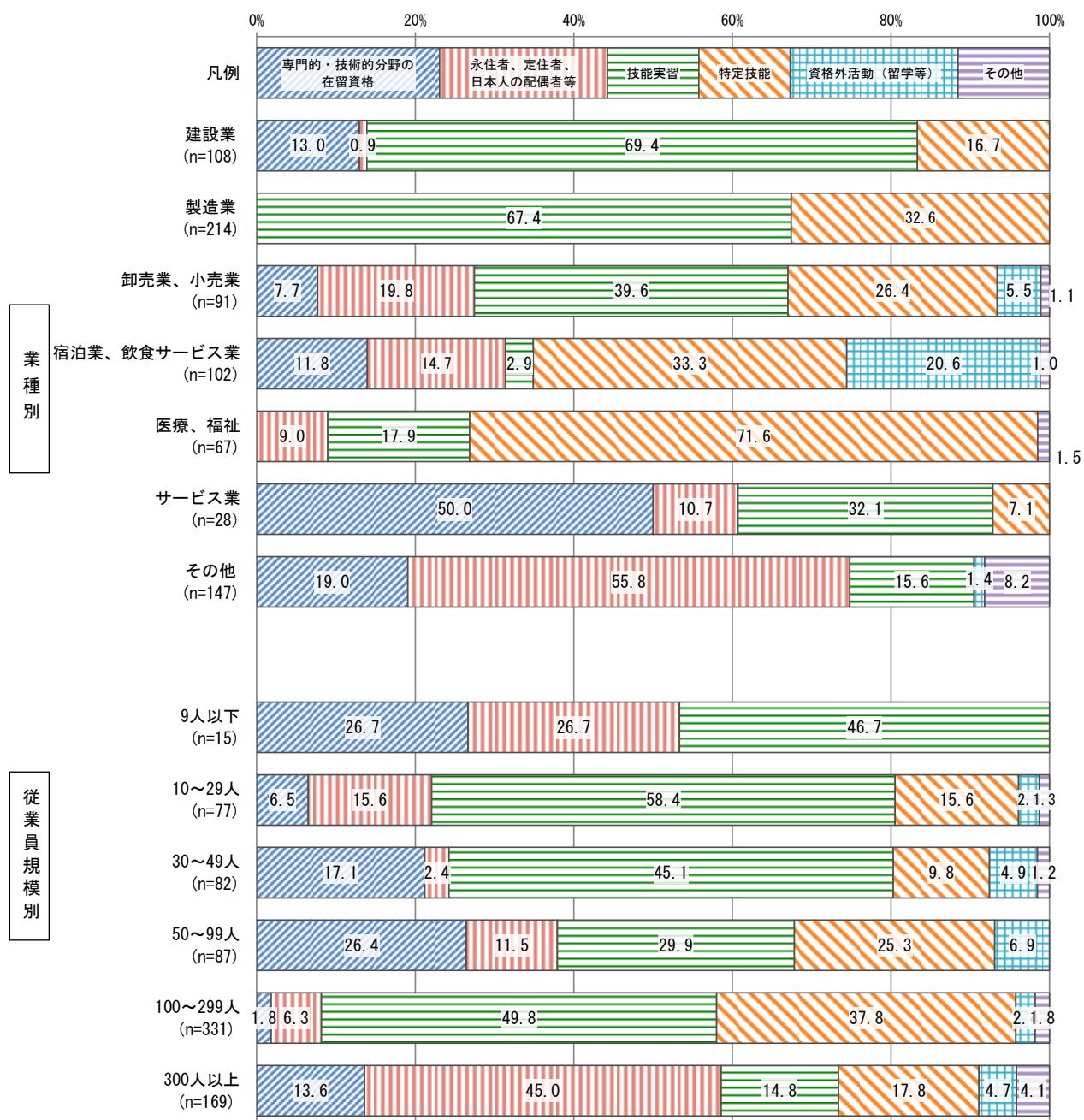


※前回との比較のグラフのnは対象者数を表す。

【性別（外国人の在留資格別構成）】



【業種別／従業員規模別（外国人の在留資格別構成）】



※性別、業種別／従業員規模別のグラフの n は対象者数を表す。

(5) 外国人を雇用している（今後雇用したい）理由

(5) 外国人を雇用している（または雇用したい）理由についてお答えください。【あてはまるもの全てに○】

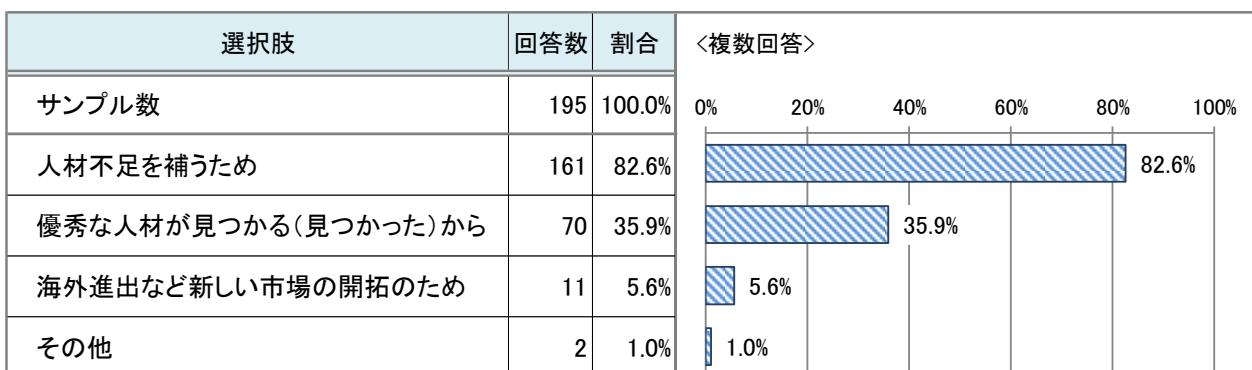
外国人を雇用している（今後雇用したい）理由については、「人材不足を補うため」が 82.6%と最も高く、次いで「優秀な人材が見つかる（見つかった）から」が 35.9%、「海外進出など新しい市場の開拓のため」が 5.6%の順となっている。

前回調査との比較では、「人材不足を補うため」が 20.2 ポイント増加、「優秀な人材が見つかる（見つかった）から」が 8.9 ポイント減少している。

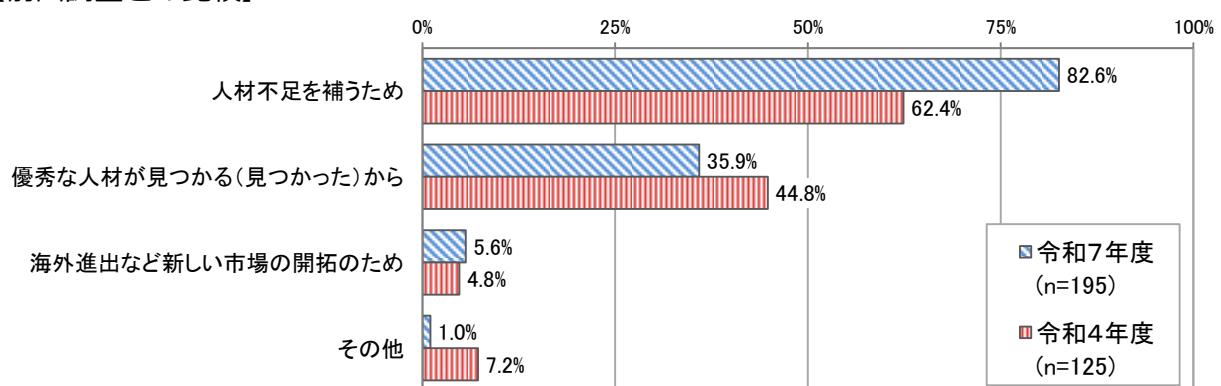
業種別でみると、〈その他〉では「優秀な人材が見つかる（見つかった）から」が 59.1%、その他 の層で「人材不足を補うため」が 8～9 割台と、それぞれ最も高くなっている。

従業員規模別でみると、すべての層で「人材不足を補うため」が最も高く、次いで「優秀な人材が見つかる（見つかった）から」の順となっている。

■外国人を雇用している（今後雇用したい）理由 [回答数=195]



【前回調査との比較】



【業種別／従業員規模別（外国人を雇用している（今後雇用したい）理由】

※ **■**は第1位、**■**は第2位、**■**は第3位の項目

		合計	人材不足を補うため	優秀な人材が見つかる	場海外開拓などのため新しい市	その他
上段：回答数 下段：回答割合(%)						
業種別	建設業	31	26	12	1	1
		100%	83.9%	38.7%	3.2%	3.2%
	製造業	10	9	1	0	0
		100%	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	卸売業、小売業	49	44	11	3	0
		100%	89.8%	22.4%	6.1%	0.0%
	宿泊業、飲食サービス業	24	20	10	5	0
		100%	83.3%	41.7%	20.8%	0.0%
	医療、福祉	35	31	11	0	0
		100%	88.6%	31.4%	0.0%	0.0%
	サービス業	24	20	12	2	0
		100%	83.3%	50.0%	8.3%	0.0%
	その他	22	11	13	0	1
		100%	50.0%	59.1%	0.0%	4.5%
従業員規模別	9人以下	17	14	6	0	0
		100%	82.4%	35.3%	0.0%	0.0%
	10～29人	50	40	19	3	1
		100%	80.0%	38.0%	6.0%	2.0%
	30～49人	32	28	13	4	0
		100%	87.5%	40.6%	12.5%	0.0%
	50～99人	37	29	14	1	1
		100%	78.4%	37.8%	2.7%	2.7%
300人以上	100～299人	34	29	9	0	0
		100%	85.3%	26.5%	0.0%	0.0%
300人以上	300人以上	25	21	9	3	0
		100%	84.0%	36.0%	12.0%	0.0%